

トラック輸送における取引環境・労働時間改善宮城県協議会 令和4年度の取組について

厚生労働省 宮城労働局

国土交通省 東北運輸局宮城運輸支局

公益社団法人 宮城県トラック協会

宮城県協議会における令和4年度の取組について

1. 令和4年度に取り組む対象輸送分野の選定について

○令和4年度に各地方協議会で取り組む対象輸送分野

(1)過去の重点取組事項や実証事業のフォローアップを実施する必要があると考えられる輸送分野等

(2)各地方協議会事務局が取組事項として特に必要と認めた輸送分野

各地方協議会において、上記の中から1つ以上の輸送分野を選定。その輸送分野における課題の整理、課題に対する改善策の活用等を検討する。

【選定理由】

荷待時間、荷役時間がトラックドライバーの長時間労働の原因となっている、今年度宮城県協議会は、荷役時間の改善に取り組むこととし、手積みでの荷役作業となっている荷主の取扱品目である「加工食品」を対象輸送分野として取り組むこととしたい。

○令和6年度から適用される時間外労働の上限規制に向けて、協議会としての改善のための工程表と今年度の重点取組事項が効果的な取組となるよう、今年度の取組のKPIを設定。(P7~8)

2. 令和4年度に課題改善の取組を行う輸送分野と取組事項

対象輸送分野： 加工食品

取組事項： パレット化による荷積時間の短縮

荷主の事情によって労働時間が長くなり、トラック事業者の課題となっている荷役作業について、荷主の協力により、改善策を実際に実施、労働時間の短縮を図る実証事業を実施。

3. 取組事業者

(発荷主) A社 (着荷主) B社 (実運送事業者) C社

※今回の取組は、発荷主、着荷主、運送事業者の取組

4. 物流の概要(現状)

- ・今回対象とする製品は、生産工場で温度管理が必要な食材。
- ・発荷主であるA社の物流センターとD社の工場から、製品を荷積し、着荷主のB社F工場、G工場、E社H工場へ輸送している。
- ・実運送事業者のC社は、現在、週21便前後の輸送を担当している。
他にも発荷主であるA社ともう1社がこの輸送を行っている。

5. 現状の課題

- ・発荷主のA社物流センター、D社工場において、それぞれトラック1台につき、最大パレット40枚相当の食材を、**トラック運転手がバラ積み(手積み)するため、荷積に時間がかかる。**
- ・バラ積み(手積み)のため、トラック運転手が協力し、二人ひと組でバラ積みを行っている。例えば、配車台数が5台あれば、5台が同時に移動し、A社、D社で協力しながらバラ積みを実施。
令和4年11月7日～12日の実態調査では、トラック15台で平均**184分(約3時間)/台の荷積時間**を要している。
(詳細は3ページに記載)

6. 課題を改善するための取組の内容

バラ積み(手積み)からパレットを用いた積み込みとする。

- ・バラ積み(手積み)から、パレットを使った積み込みにすることで、荷積時間を大幅に短縮する。
- ・パレット化により「協力して荷積みを手伝う時間」がなくなる。
- ・積み込み先までまとめて移動しなくて済むので、配車が容易になり、運送効率も改善される。

【課題】

- ・バラ積みからパレット化すると、トラックに積載する際に、パレットを2段重ねする必要があり、その際、上段パレットの荷重で下段のパレットの梱包段ボールの変形等が発生。
- ・トラック1台当たりパレット積載数が最大32パレットのため、D社の生産計画を見直し、出荷量の平準化が必要となる。

令和4年11月7日～12日 A社及びD社での荷積時間調査

- ・11/7～11/12(1週間) A社物流センターとD社工場で調査した結果、2ヶ所合計でトラック1台当たり平均**184分(約3時間)/台**の荷積時間を要している。
- ・トラック1台当たり平均のパレット換算積載量は平均**32パレット**。

A社及びD社での荷積状況

※: 自社便のデータ

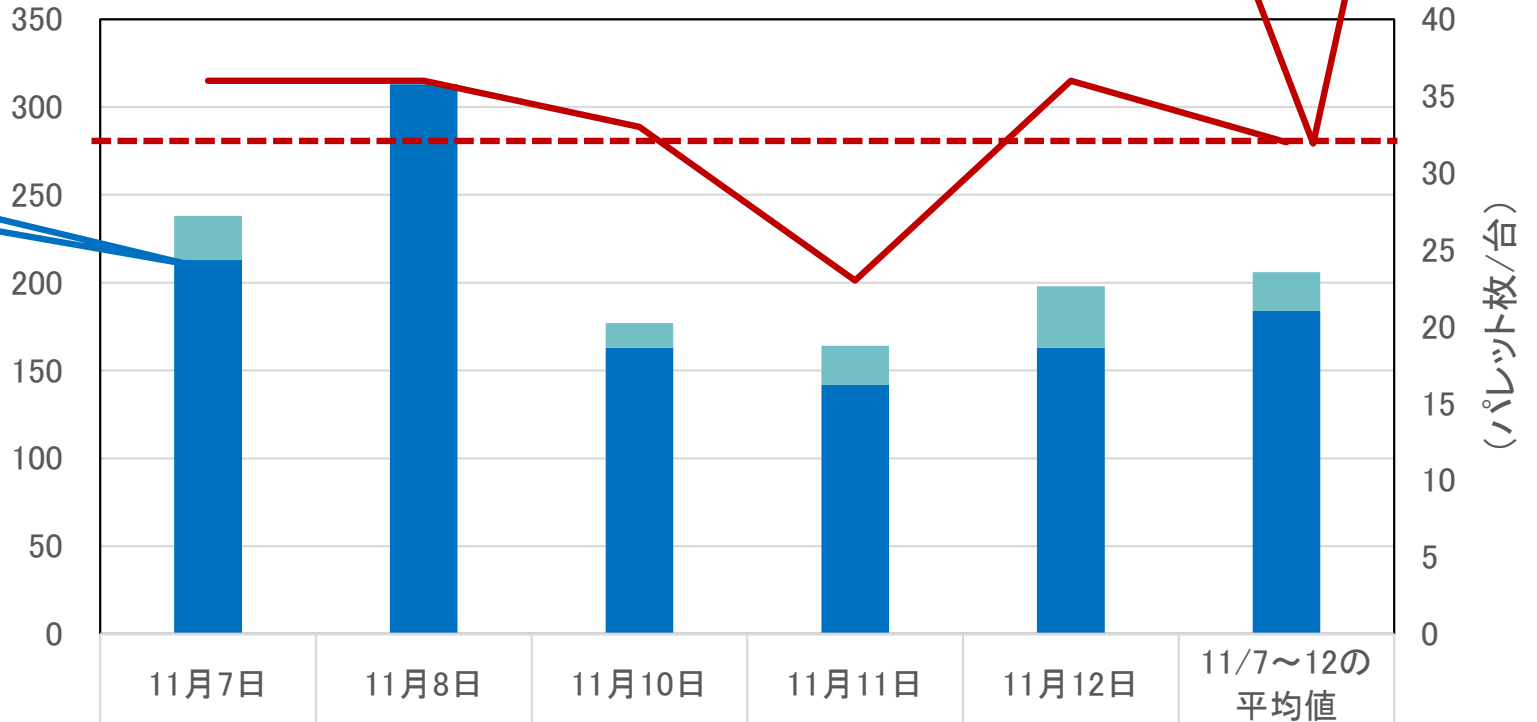
■ 平均荷積時間(分/台) ■ 平均荷待ち時間(分/台) トラック台数 ー パレット換算積載数(枚/台)

トラック1台当たり積載できる最大パレット数が32枚

荷積時間比率はA社で69%、D社で31%

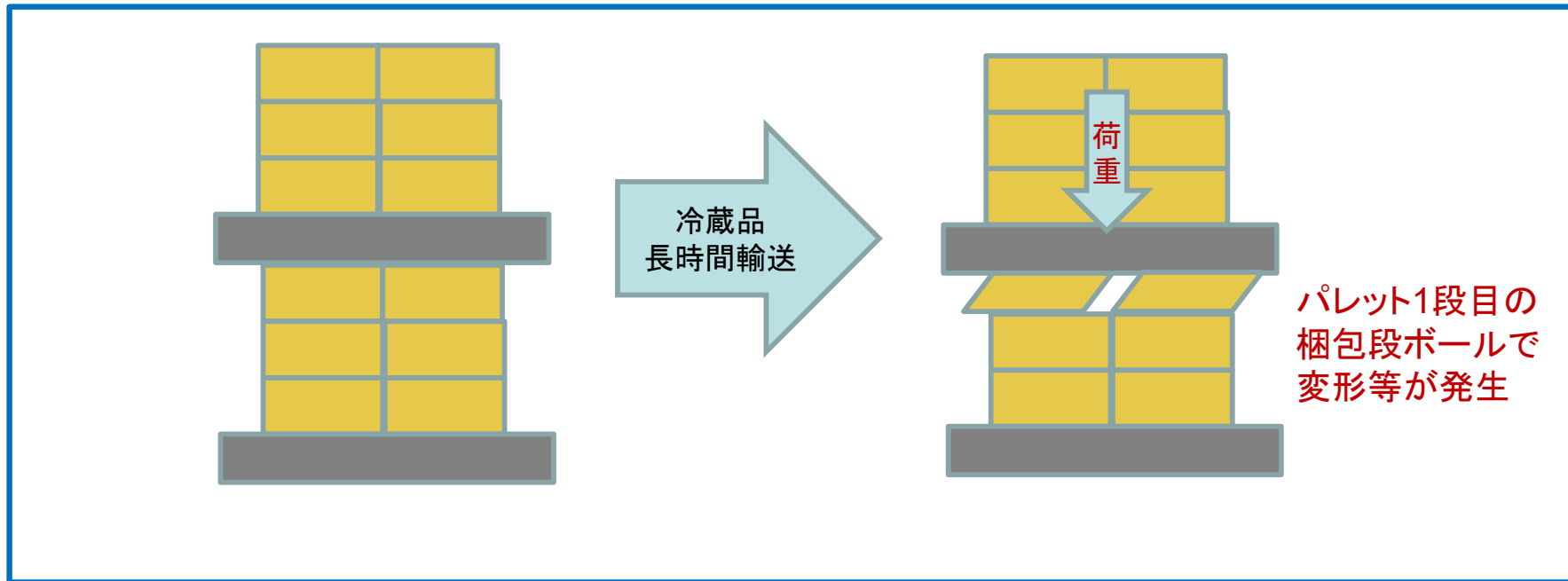
(分/台)

F工場向け:40%
G・H工場向け:60%



(パレット枚/台)

課題解決の検討案



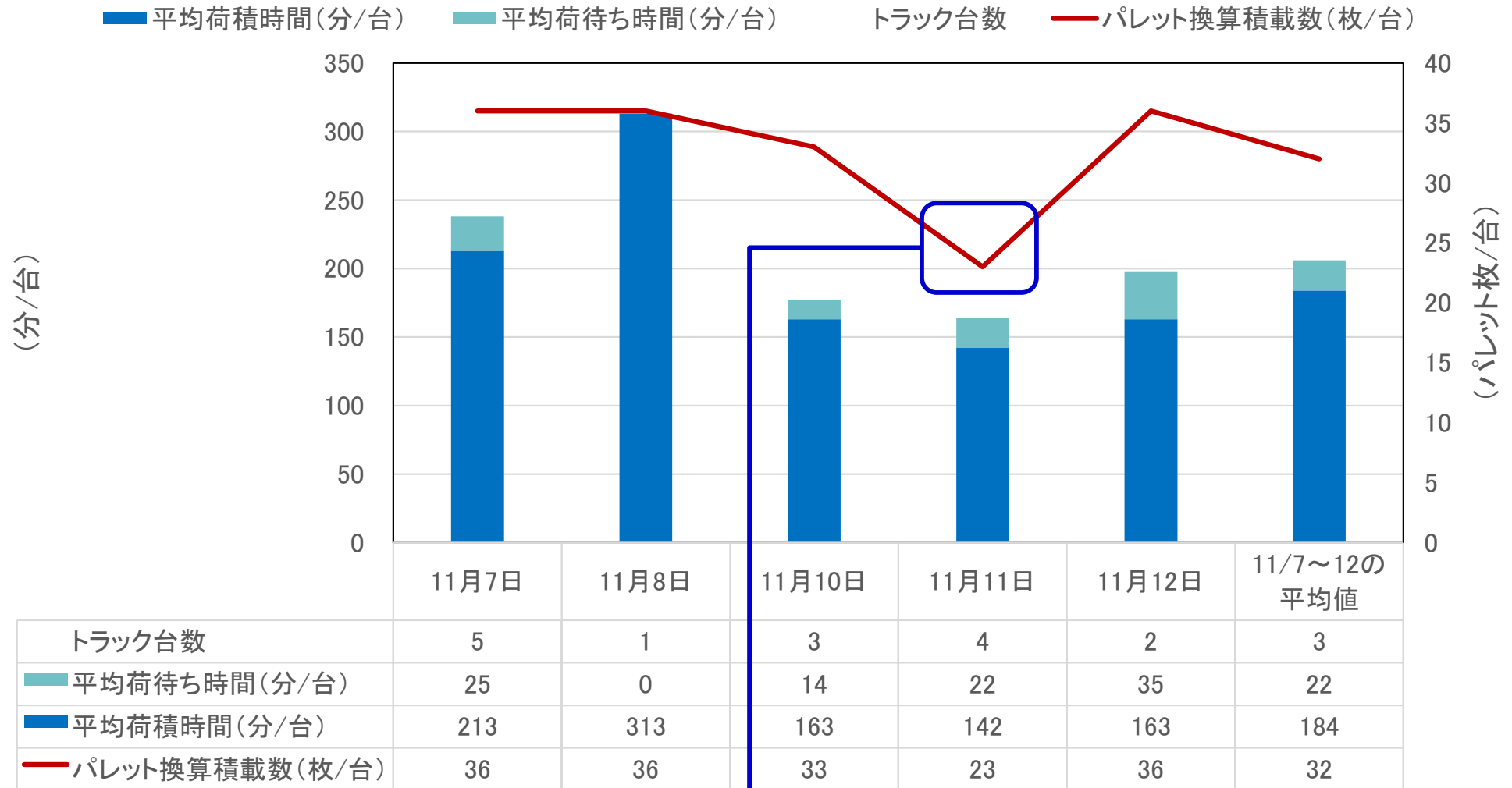
改善検討案:

ダン・カーゴ等の活用によるパレット輸送で変形等の防止を図る



試験的な改善策の実施案

A社及びD社での荷積状況



積載するパレット枚数が少なく、且つスペースの広いA社物流センターで、B社G工場向け製品等の荷積みで、試験的にパレット輸送を実施する。

宮城県協議会における令和4年度の取組について

7. 荷主側のメリット

【発荷主:A社】

- ・同様の輸送(B社 I工場)を行っていることから、荷積時間の短縮となる。
- ・A社のピッキング担当者がフォークリフトでパレットを運んでいるので、荷積時間が短縮となり、作業効率が向上する。

【着荷主:B社】

- ・着荷主は、SDGsや働き方改革の観点及び全体物流効率向上を目指し、パレット化という目標を設定。今後の改善の取組みの中で、実証し、推進。

8. 今後の進め方

【令和4年度】

- (1) 第16回宮城県協議会において【加工食品】に取り組むこと了承。
- (2) トラック運送事業者と荷主において、加工食品の輸送を行っているトラックドライバーの労働時間、荷待ち時間、荷役時間の実態を把握、課題を明確にする。
- (3) トラック運送事業者と荷主において、トラックドライバーの労働条件について課題を共有、改善策の検討の場を設ける。
- (4) トラック運送事業者と荷主で業務内容を見直し、**試験的に改善策を実施**、時間短縮につながったかなど、その効果・課題を検証。
- (5) 第17回宮城県協議会において、今年度の加工食品の取組の結果を報告。(令和5年3月開催予定)

【令和5年度以降】

- (6) トラック運送事業者と荷主で見直した業務内容を本格的に実施、労働時間の改善につなげる。
- (7) このモデルを、加工食品を扱っている他の事業者にも共有し、広く改善策の活用を図る。

○パレット化による荷積時間の短縮

○重点取組事項概要

加工食品の輸送において、積込み時にトラック運転手がバラ積み(手積み)していることから、A社物流センターとD社工場で合計184分の平均荷積み時間が発生している。また、その積込み時には自分の車両だけでなく他車の荷積みの手伝いを行っている現状にある。

この課題を改善するため、荷主・トラック運送事業者の協力により、パレットを用いた積み込みにすることで、トラック運転手の荷積時間の短縮を図る。

OKPI

【荷積時間の改善】

バラ積みからパレットを導入し、トラック運転手の荷積時間を短縮
50%以下(184分/台 → 92分/台)

○重点取組事項の取組状況

この欄は3月開催の協議会に報告
します。今回は未記入です。

○課題及び今後の対応の方向性

この欄は3月開催の協議会に報告
します。今回は未記入です。

地方協議会名:宮城県協議会

重点取組事項:パレット化による荷積時間の短縮

【概要】加工食品の輸送において、積込み時にトラック運転手がバラ積み(手積み)していることから、A社物流センターとD社工場で合計184分の平均荷積み時間が発生している。また、その積込み時には自分の車両だけでなく他車の荷積みの手伝いを行っている現状にある。

この課題を改善するため、荷主・トラック運送事業者の協力により、パレットを用いた積み込みにすることで、トラック運転手の荷積時間の短縮を図る。

2021年度		2022年度	2023年度	2024年度	KPI	備考
宮城県のトラックドライバーの労働時間改善				トラックドライバーの時間外労働上限規制適用開始		
【2021年度実証事業】 (加工食品(水産加工品)) 横持ち輸送による発荷主の物流効率改善と トラックドライバーの荷待時間改善		2021年度の実証事業の取組 内容について、他の荷主・ トラック運送事業者へ横展開を 図る。	【2022年度 実証事業】 (加工食品) パレット化による荷積時 間の短縮			
					【2022年度】 バラ積みからパレットを導入し、トラック運 転手の荷積時間を短縮 50%以下(184分/台 → 92分/台)	